

(1) EDU-Portニッポン 令和7年度の取組状況（概要）（令和7年4月～12月）



1. 事業の実施概要

令和7年度は下記日程のとおり事業を実施中・実施予定。

日本型教育の海外展開（EDU-Portニッポン） 令和7年度スケジュール

● 各種委員会 ● イベント … ステアリングコミッティ委員関係行事

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|--|----|---------------------|---------------------------------|---|--|---|-------|---------------------|--|----|-----------------------------|
| ● 4/16~22 第16回ステアリングミーティング（書面開催） | | ● 6/19 第1回幹事会 | ● 7/5,6 「実践研究福井」ワーケーション参加 | ● 8/20~22 TICAD9「TICAD Business Expo & Conference」Japan Fairベース出展 | ● 9/10 教育協力カウイーク2025 「日本型教育の海外展開（EDU-Portニッポン）×アフリカの教育課題の今とこれから」 勝校受入れ | ● 9/15~19 「SEAMEO-Japan ESD Award」優 | | ● 12/1 第2回幹事会 | ● 12/12~18 第17回ストラテジーハッカソン（書面開催） | | ● 2/27 EDU-Portハハボンガム |
| 公募事業 4/25公募開始、5/9公募説明会…審査…7/4採択結果公表 | | | | | 事業支援 | 採択機関進捗報告書 | 進捗報告会 | | 成果報告会 | | |

次期EDU-Port委託事業者公募準備～決定・契約交渉

2. 主な取組概要

(1) 「日本型教育の海外展開官民協働プラットフォーム」の運営

〈ステアリングコミッティ・幹事会の開催〉

第16回ステアリングコミッティ書面開催（令和7年4月16日～22日）

第1回幹事会開催（令和7年6月19日）

第2回幹事会開催（令和7年12月1日）

第17回ステアリングコミッティ書面開催（令和7年12月12日～18日）

〈国際協力の実施主体及び国内教育委員会や学校現場との連携強化・事業の認知度向上・運営効率化促進〉

● 広報活動

- EDIX（教育総合展）東京2025（令和7年4月23日～25日／東京ビックサイト）にて、参加機関の出展ブースを訪問しEDU-Portニッポンを紹介
- NEW EDUCATION EXPO2025（令和7年6月5日～7日／東京ファッションタウン）入場者にEDU-Portニッポンのチラシ配布

- 第9回アフリカ開発会議（TICAD9）においてJETRO「TICAD Business Expo & Conference」Japan Fair（令和7年8月20日～22日／神奈川県 パシフィコ横浜）にブース出展（[詳細別紙①](#)）

〈セミナー、シンポジウムなどを通じた成果の普及の促進〉

- 「実践研究 福井ラウンドテーブル2025 Summer Sessions」（令和7年7月5日・6日／福井県 福井大学）への参加（[詳細別紙②](#)）
- 「教育協力ウィーク 2025（学ぼう！つながろう！未来のためにできること）」のサイドイベントとして、文部科学省セッション「日本型教育の海外展開（EDU-Portニッポン）×アフリカの教育課題の今とこれから」を開催（令和7年9月10日／オンライン）（[詳細別紙②](#)）

〈個別相談への対応・複数セクターのマッチングを通じた海外展開の促進〉

- メールマガジン配信（4月～11月毎月1回、特別号4回）
- メキシコ民間教育関係者訪問受入れ（6月3日）、マレーシア教育省関係者訪問受け入れ（11月26日）

〈ホームページ・SNSなどを通じた事業成果の国内外への発信と共有〉

- 公募事業参加機関のプロジェクトニュース掲載（5件）（詳細別紙③）
- ニーズ・シーズ集へのコラム掲載（2件）（詳細別紙③）

〈海外の政府・開発機関関係者及び教育関係者への、日本の教育の知見共有・日本国内の学校視察等の実施を通じた相互交流の機会の提供〉

- 文部科学省と東南アジア教育大臣機構（SEAMEO）共催の懸賞事業「SEAMEO-Japan ESD Award」の優勝校の生徒・教師等来日における、さいたま市立大宮北高等学校等の訪問（令和7年9月15日～19日）

（2）公募事業の実施（採択機関一覧別紙④）

〈「日本型教育の海外展開（EDU-Portニッポン）応援プロジェクト」の公募・採択・実施〉

- ①継続案件：令和6年度採択案件9件の実施
- ②新規案件：令和7年4月25日～令和7年5月23日公募実施。24件の申請を受け付け、21件を採択し実施中

〈「日本型教育の海外展開に関する調査研究の公募・採択・実施〉

- ①継続案件：「グローバルサウス諸国への教育システムの海外展開と国内還元に関する調査研究」（国立大学法人福井大学／令和6年度採択）の実施
- ②新規案件：「アフリカにおける水平的な日本型教育の海外展開に関する調査研究」（株式会社公文教育研究会／令和7年度採択）
令和7年4月25日～令和7年5月23日公募実施。15件の申請を受け付け、1件を採択し実施中

以上

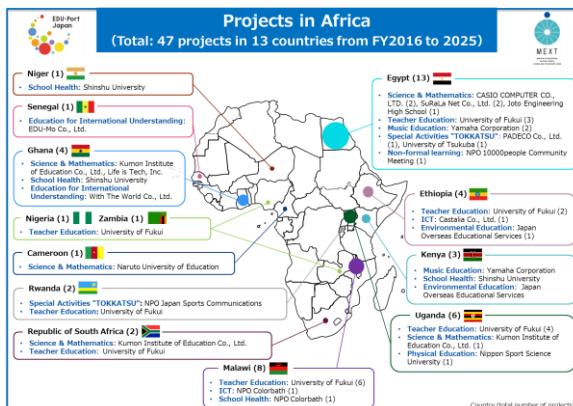
【出展概要】

- 日程:令和7年8月20日(水)～22日(金)
 - 場所:パシフィコ横浜展示ホールB,C

- 出展内容:アフリカにおけるEDU-Port事業参加機関の様々な取組や、アフリカで事業を展開中、あるいは進出を目指しているプラットフォームメンバー機関の製品・技術・サービスを、パネル、教材、動画にて紹介。

- 日本を含め37か国から500名以上が来訪。アフリカからの来訪者数はナイジェリアが最も多く、次いでケニア、ガーナなど。
 - あべ文科大臣他、エジプト教育・技術教育大臣、マダガスカル技術・職業訓練大臣など政府高官も来訪し、日本型教育に関心を示した。日本政府関係では外務省、内閣官房海外ビジネス投資支援室、JICA、JETRO関係者が来訪。
 - 関心分野についてのアンケートを実施(回答者170人)。「理数科教育」(32人)、「高等教育」(22人)、「インクルーシブ教育/特別支援教育」、「EdTech」(各18人)が多かった。
 - 会期終了後、来訪者からの問い合わせ・依頼(209件)に対し、EDU-Port事務局から、関心分野の資料送付、メルマガ登録の案内、協働候補先紹介など、個別に対応を実施。

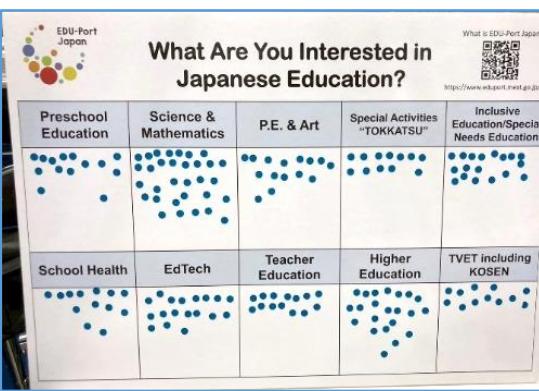
EDU-Port事業参加機関の取組、製品・サービス等をパネル・動画等で紹介



アフリカにおける事業紹介



「人材育成」のエリアに出展



あべ文科大臣とエジプトのラティーフ教育大臣が来訪し、エジプト日本学校(EJS)における特活の取組紹介を視察

関心分野についてのアンケートを実施

実践研究福井ラウンドテーブル」とは

地域や職種の垣根を越えて教育分野の実践者・実践研究者が集い、少人数のグループに分かれて互いの実践を紹介し合う交流の場で、年2回開催。教育実践者が日々の課題を持ち寄り、他者との対話を通じて省察を深める貴重な機会となっている。

- 開催日:令和7年7月5日・6日
- 場 所:福井大学
- 参加者(のべ):
対面504名、オンライン298名
- EDU-Portからの参加機関(法人格略):
福井大学、ワールドビジョン、ヤマハ、
チームがじゅん、東大阪みらい工科高等
学校、すららネット、市邨高等学校、
1万人井戸端会議、公文教育研究会、
EDU-Port事務局

【参加セッション】

- ①ポスターセッション
- ②セッションⅡ:学校・教育・地域を考える6つのアプローチ
- ③セッションⅢ:ラウンドテーブルクロスセッション

「実践の長い道行きを語り 展開を支える営みを聞き取る」

- 国内外の教員など教育実践者に各機関の日本型教育の展開について知ってもらうとともに、意見交換を実施した。

【EDU-Port参加機関によるクローズドセッション】

- EDU-Port参加の意義や海外との交流における難しさ、
他機関との協働によるメリット、EDU-Port参加機関間の
連携強化に向けた方策などを議論。



「教育協力ウィーク 2025（学ぼう！つながろう！未来のためにできること）」参加

「教育協力ウィーク」とは

JICA、開発コンサルタント等により立ち上げられた「教育協力プラットフォーム」の活動の一環として、教育セクターの実務者・研究者間の情報共有・意見交換・ネットワーク形成等を目的として2021年より開催。EDU-Portは、JICA、民間団体からの経験・知見の共有や情報交換を通じて、具体的な共創モデルの検討につなげることを目的とし、令和5年度から参加。

- 教育協力ウィーク: 令和7年9月8日～12日
- 文科省セッション開催日: 同9月10日16:45～18:15
- 開催方法: オンライン
- セッションテーマ: 「日本型教育の海外展開 (EDU-Portニッポン)×アフリカの教育課題の今とこれから」
- 内容: TICAD9を受け、JICA、民間企業、NPOからの登壇者が、アフリカにおける教育課題やニーズ、事業展開や今後の展望について紹介した後、ディスカッションを実施
- 参加者: 103名

- ①文科省挨拶、EDU-Portニッポン紹介

②発表:

- ・JICA人間開発部:アフリカの教育課題とJICAの基礎教育分野の事業展開
- ・ライフイズテック(株):次世代デジタル人材育成によるガーナへの貢献
- ・株With The World:国際交流をもっとおもしろく
- ・NPO Colorbath:教育を通じた国際協働

③ディスカッション:

事業をアフリカで展開することの難しさや
機関間の連携及び協働の在り方などについて意見交換。



掲載日掲載内容

- 2025年4月23日： 令和5年度調査研究事業：国立大学法人筑波大学
「Tokkatsuの海外展開はエジプトに何をもたらし、日本に何を投げかけているか？」
- 2025年4月24日： 2021年度応援プロジェクト他：特定非営利活動法人 MIYAZAKI C-DANCE CENTER
「2024年度国際交流基金地球市民賞を受賞しました！」
- 2025年7月11日： 2018年度パイロット事業：国立大学法人信州大学
「EDU-Port事業のその後の展開：エコヘルス教育のアプローチを活用したラオス南部の流行病の対策と地域カリキュラムの開発」
- 2025年7月28日： 「実践研究福井ラウンドテーブル2025 Summer Sessions」にEDU-Portニッポン関係者が参加しました！」
- 2025年10月14日： 令和6年度応援プロジェクト：学校法人吉村学園大東幼稚園
「大東幼稚園「Daito Method」で広がる幼児教育の未来～日本の心をマレーシアへ～」

ニーズ・シーズ集へのコラム掲載

掲載日掲載内容

- 2025年10月27日： 「日本式算数で虹の国の教育に光を」（国際協力機構(JICA)専門家 板垣暁歩氏）
- 2025年12月2日： 国際交流プログラム「Pacific Rim Online Program」を通じた理数科教育と海外連携（さいたま市立大宮北高等学校）

令和7年度日本型教育の海外展開（EDU-Portニッポン）新規採択事業 (調査研究1件、応援プロジェクト21件)

別紙④-概要



| No. | 実施機関名称 | 事業名称 | 分野 | No. | 実施機関名称 | 事業名称 | 分野 |
|-------------------|--------------------------------|---|--------------|-----|--------------------------------|---|--------------------|
| 調査研究 | | | | | | | |
| ① | 株式会社公文教育研究会 | 個人別算数学習および教具のニーズ調査とその活用を通じた基礎学力向上の効果測定 | 理数教育・工学教育 | ⑪ | カシオ計算機株式会社 | 関数電卓を用いたエジプトでの探究型数学教育事業 | 理数教育・工学教育 |
| 応援プロジェクト-学校法人 | | | | | | | |
| ② | 学校法人郁文館夢学園 | バングラデシュにおける日本型教育モデル校の運営と日本型教育の普及 | その他（日本型学校教育） | ⑫ | 株式会社KJホールディングス（河合塾グループ） | 東南アジア圏における幼稚園～高校等の学校、学習塾・予備校の経営、模擬試験事業を含む教育関連事業の展開 | キャリア教育 |
| ③ | 名古屋経済大学市邨高等学校 | 対話的学びと交流から取り組むESD活動～若者意識の変容と考察～ | ESD | ⑬ | 株式会社Classroom Adventure | アジア地域におけるゲーミフィケーションを活用した情報リテラシーの向上 | ICT活用 |
| ④ | Indiana Global Learning Center | 日本に特徴的な生物資源を活用した教材の開発とICTの活用による科学教育の実践 | 理数教育・工学教育 | ⑭ | Sunny Animal Hospital（サニー動物病院） | カンボジアにおける小動物臨床医療の発展を目的とした獣医師人材育成支援事業 | キャリア教育 |
| ⑤ | 神戸山手グローバル中学校高等学校 | 英語イマージョン協働プロジェクト—英語で学ぶ数学とプログラミングによる国際探究学習 | 国際理解教育 | ⑮ | 株式会社すららネット | 算数・数学のデジタル学習と国際コンテスト開催を通じた非認知能力育成の成果検証 | 理数教育・工学教育 |
| ⑥ | 学校法人菊武学園 名古屋産業大学 | ネパールにおける「ゼロカーボンスクール」の活動自走化支援 | ESD | ⑯ | 株式会社セルフウイング | ベトナムにおける9歳から大学・社会人向けアントレプレナーシップ教育の普及 | その他（アントレプレナーシップ教育） |
| 応援プロジェクト - 企業 | | | | | | | |
| ⑦ | 株式会社アフレル | サウジアラビア児童の未来創造力を育む日本型STEAM教育の展開 | 理数教育・工学教育 | ⑰ | 大日本図書株式会社 | カンボジアにおける質の高い算数デジタル教科書の普及促進 | 理数教育・工学教育 |
| ⑧ | 株式会社With The World | 日本とアジア諸国等の相互理解/SDGs促進に向けた国際協働推進事業 | 国際理解教育 | ⑱ | 株式会社タオ | ICT知育教材を用いた日本式幼児教育の海外展開 | ICT活用 |
| ⑨ | 株式会社内田洋行 | カンボジアの子どもたちの21世紀型スキルの習得を目指したデジタル学習コンテンツの開発と教員研修 | ICT活用 | ⑲ | Pestalozzi Technology株式会社 | 初等中等教育における体力テストwebアプリの導入及び疾病予防の実現に向けた分析 | 体育教育 |
| ⑩ | カシオ計算機株式会社 | インドネシアでの関数電卓を使った探究型教育の普及・定着支援事業 | 理数教育・工学教育 | ⑳ | ヤマハ株式会社 | フィリピン共和国初等教育への日本型音楽教育導入事業 | 音楽教育 |
| 応援プロジェクト - 一般社団法人 | | | | | | | |
| ㉑ | ライフイズテック株式会社 | ガーナにおけるデジタル教材の展開による中高生の創造力と問題解決能力の育成 | 理数教育・工学教育 | ㉒ | 一般社団法人namstrops | 正解のない課題に創造的に向き合う『SOUSAKU-DANCE CAMP』を通じた日本型教育「創作ダンス」のローカライズ | 体育教育 |

| 2025年度 調査研究 テーマ「アフリカにおける水平的な日本型教育の海外展開に関する調査研究」 | | | | | | | |
|---|--------------------------------|---|--------------------|---|---------|-----------|--|
| | 事業実施機関 | 事業名 | 対象国 | 概要 | カテゴリ | テーマ | |
| 124 | 株式会社公文教育研究会 | 個人別算数学習および教具のニーズ調査とその活用を通じた基礎学力向上の効果測定 | ガーナ | 一斉授業が主体の学校において「個人別の算数学習に一定期間継続的に取り組むこと」や、一般家庭や地域の施設も含めた多様な場における「教具を用いた学びの機会」についてのニーズ調査を行うとともに、それらの活用を通じて学力（主に計算能力）や学びに向かう姿勢、自己肯定感といった非認知能力を高めることができるかを検証する。 | 初等中等教育 | 理数教育・工学教育 | |
| 2025年度 応援プロジェクト | | | | | | | |
| | 事業実施機関 | 事業名 | 対象国 | 概要 | カテゴリ | テーマ | |
| 125 | 学校法人郁文館夢学園 | バングラデシュにおける日本型教育モデル校の運営と日本型教育の普及 | バングラデシュ | バングラデシュにおいて、日本型教育のモデル校を運営し、全人教育を基盤に給食や清掃活動、部活動、運動会、文化祭などを導入している。モデル校への教育関係者の観察受入れ、同国教員に対する日本型教育の研修実施、地域での清掃活動などを通じて、日本型教育への理解促進と普及を図り、バングラデシュ全体の教育水準向上を目指す。 | 高等教職業教育 | 日本型学校教育 | |
| 126 | 名古屋経済大学市邨高等学校 | 対話的学びと交流から取り組むESD活動～若者意識の変容と考察～ | 台湾・韓国・カンボジア・ヨルダン | パートナーシップ協定校（国立台湾鳳山商工職業高校・埼玉県立越谷北高校）、専門家、地方公共団体、企業と連携し、ICTを活用した双方向型の対話的な学びを行う。協働活動を通して難民問題・貧困問題に取り組み、SDGsに貢献することで、若者の自己肯定感を醸成する。予測困難な時代において、対話的学びの海外展開を通して学び続ける力を確保し、国際秩序に貢献する姿勢を世界に発信する。 | 初等中等教育 | ESD | |
| 127 | Indiana Global Learning Center | 日本に特徴的な生物資源を活用した教材の開発とICTの活用による科学教育の実践 | アメリカ・ポルトガル・ドミニカ共和国 | アメリカ合衆国および日本の教育研究者が、共同で日本に特徴的な生物資源であるアサガオを用いた教材の開発を行う。またその教材を活用し科学教育を実践する。ポルトガルおよびドミニカ共和国において、科学教育に求められる実験や観察の機会が限定期的な学校に所属する児童生徒、さらにはホームスクーリングなど多様な学習環境にある児童生徒に対して、ICTの活用による質の高い科学教育を提供することを目指す。 | 初等中等教育 | 理数教育・工学教育 | |
| 128 | 神戸山手グローバル中学校高等学校 | 英語イマージョン協働プロジェクト—英語で学ぶ数学とプログラミングによる国際探究学習 | フィリピン・インド | 本校は、文部科学省高等学校DX加速化推進事業に指定され、ICTを活用した個別最適化教育や英語によるイマージョン学習を展開している。フィリピン及びインドの中等教育機関と連携し、「英語で学ぶ数学・プログラミング」の実践を通じた協働探究学習をオンラインで実施する。また、生徒同士が国境を越えて協働し、創造的かつ論理的思考を育成する国際PBL（課題解決型学習）を実践する。 | 初等中等教育 | 国際理解教育 | |

| | | | | | | |
|-----|---------------------|---|--|--|--------|-----------|
| 129 | 学校法人菊武学園 名古屋産業大学 | ネパールにおける「ゼロカーボンスクール」の活動自走化支援 | ネパール | ネパールのルンビニ州ティロッタマ市をモデル都市として、現地カウンターパートのドゥルガダッタ中等学校と連携し、緑化活動、省エネ活動等により学校生活のカーボンニュートラルを探究する「ゼロカーボンスクール」の活動自走化に向けた教員研修（集合研修、巡回訪問）を実施する。 | 初等中等教育 | ESD |
| 130 | 株式会社アフレル | サウジアラビア児童の未来創造力を育む日本型STEAM教育の展開 | サウジアラビア | サウジアラビアの児童を対象に、日本製プログラミング教材を活用した、ものづくりを通じて学ぶSTEAM教育を実施する。「探究・協働・表現」を重視した日本型STEAM教育を通して、現地児童らの問題解決力・創造力・表現力を育む。また、現地教員向けの研修や日本国内の教員との交流機会の提供により、本プロジェクト後も持続可能な教育体制を構築する。 | 初等中等教育 | 理数教育・工学教育 |
| 131 | 株式会社With The World | 日本とアジア諸国等の相互理解/SDGs促進に向けた国際協働推進事業 | インド・インドネシア・タイ・台湾・フィリピン・ベトナム・カザフスタン・ガーナ | 世界67カ国の教育ネットワークと実績を活かし、アジア諸国等と日本の学校をオンラインでつなぎ、探究型の国際協働学習を展開する。生徒たちのSDGsの関心分野ごとチームに分かれ、異文化理解・論理的思考・課題解決力を養うProject Based Learning(PBL)プログラムに参加し、探究学習の国際通用性の検証や教職員研修にもつなげる。国際協働を通じて、双方の教育の質向上と持続可能な開発への貢献を目指す。 | 初等中等教育 | 国際理解教育 |
| 132 | 株式会社内田洋行 | カンボジアの子どもたちの21世紀型スキルの習得を目指したデジタル学習コンテンツの開発と教員研修 | カンボジア | これまで8年間、カンボジア、シエムリアップ教員養成大学と共に、ICT教育の改善、デジタルコンテンツの開発、学習者中心の小学校英語教材の開発を行ってきた。今回、21世紀型スキルのデジタル学習コンテンツを開発し、都市部、農村部で教員研修を実施する。研修を通して、カンボジアの伝統・文化を加味しながら、日本で実践されている「対話的学び」の「カンボジアバーション」を創り上げていく。 | 初等中等教育 | ICT活用 |
| 133 | カシオ計算機株式会社 | インドネシアでの関数電卓を使った探究型教育の普及・定着支援事業 | インドネシア | インドネシアの教育施策で謳われている、自ら考え学び続ける人材育成への貢献を目指し、前年度に引き続き関数電卓を用いた探究型授業を開発・実証する。今期はこれまでの対象校の中からモデル校を選定し、教員研修を実施する。研修後は授業をモニタリングして技術的フォローアップを強化し、思考力の向上に寄与する授業実践の普及・定着を支援していく。 | 初等中等教育 | 理数教育・工学教育 |
| 134 | カシオ計算機株式会社 | 関数電卓を用いたエジプトでの探究型数学教育事業 | エジプト | エジプトではカリキュラム改革に伴い、探究型指導の重要性が高まっている。1期目にて構築した教師研修のスキームを発展させ、私立校のみならず教育省管轄の公立校やEgypt-Japan School(EJS)と協働で、探求型指導の研修を企画・実施していく。また、研修後に授業での定着までサポートをすることで、最終的に生徒自身が関数電卓を用いて主体的に学べる探究型授業の実現を目指す。 | 初等中等教育 | 理数教育・工学教育 |

| | | | | | | |
|-----|---------------------------------|--|-------------------------|---|-----------|---------------|
| 135 | 株式会社KJホールディングス（河合塾グループ） | 東南アジア圏における幼稚園～高校等の学校、学習塾・予備校の経営、模擬試験事業を含む教育関連事業の展開 | ベトナム | 河合塾グループは、学習塾・予備校事業や模擬試験・非認知能力の可視化等のアセスメント事業、幼稚園・中学校・高校等の事業を日本で展開してきた。そのノウハウを活かし、初期はベトナムを対象にしつつ、将来的には東南アジア全域に対象を広げ、現地教育機関・企業と連携し、現地ニーズに即した教育サービスや学校の展開を行い、教育品質の向上と進路選択機会の拡大を目指す。 | 幼児教育 | キャリア教育 |
| 136 | 株式会社 Classroom Adventure | アジア地域におけるゲーミフィケーションを活用した情報リテラシーの向上 | 台湾・タイ・インドネシア | 情報リテラシーの向上は、日本に限らず世界的な教育課題である。Classroom Adventureでは、アジア地域を中心に、ゲームの仕組みや要素を教育に応用する「ゲーミフィケーション」の手法を取り入れた情報リテラシー教育を展開している。代表的なプログラムには、楽しみながら情報検証のスキルを学べるゲーム型教材「Ray's Blog」や、若者がチームでファクトチェック力を競い合う国際大会「ユースファクトチェック選手権」がある。こうした取り組みにより、若者たちが主体的に、かつ持続的に情報リテラシーを身につけられる学習環境の普及を目指している。 | 初等中等教育 | ICT活用 |
| 137 | Sunny Animal Hospital (サニー動物病院) | カンボジアにおける小動物臨床医療の発展を目的とした獣医師人材育成支援事業 | カンボジア | カンボジアにおける小動物医療分野の教育機会不足に対応するため、日本の獣医師および教育機関等と連携し、現地の獣医師・学生・教員に対するOJT・研修支援と相互スタディーツアーを実施する。継続的かつ多面的な教育機会の提供を通じ、同国の獣医師を育成すると共に獣医教育の基盤を構築し、小動物臨床医療の発展を目指す。また、日本の大大学等との協働を通じ、日本国内の獣医学の国際化および人材育成にも貢献する。 | 高等教育・職業教育 | キャリア教育 |
| 138 | 株式会社すららネット | 算数・数学のデジタル学習と国際コンテスト開催を通じた非認知能力育成の成果検証 | インドネシア・スリランカ・エジプト・カンボジア | 途上国・新興国で、デジタル学習を通じた非認知能力の向上に貢献することを目指している。スリランカにおいて、長年教材を導入しているNGOで、Surala Mathによる学習が非認知能力に与える効果を検証の上、その結果をもとにより効果的な教育実践を検討し、他国にも展開する。また、事業展開国と連携して2つの国際イベントを開催する。イベントを通して、学習意欲や自己肯定感の向上に取り組むとともに、その効果を検証し、今後の効果的な教育事業実践に向けた知見を蓄積していく。 | 初等中等教育 | 理数教育・工学教育 |
| 139 | 株式会社セルフウイング | ベトナムにおける9歳から大学・社会人向けアントレプレナーシップ教育の普及 | ベトナム | 日本で開発・研究された、初等教育から高等教育（社会人）までの成長段階に合わせたカリキュラムを、指導者研修、カリキュラム検証、アントレプレナーシップワークショップ、アントレプレナーシップ教育ワークブックの出版などの活動を通して、広くベトナム国の公教育に導入する。また、現地で得た知見を日本の教育現場に還元し、日越の教育における総合発展を目指す。 | 全ての学校段階 | アントレプレナーシップ教育 |

| | | | | | | |
|-----|---------------------------|---|-------------------------|--|--------|-----------|
| 140 | 大日本図書株式会社 | カンボジアにおける質の高い算数デジタル教科書の普及促進 | カンボジア | カンボジアでは、内容が正確な質の高い教科書が求められており、当社では公益財団法人CIESF（シーセフ）がカンボジアに設立したCIESF Leaders Academyの先生方の協力のもと、算数デジタル教科書におけるクメール語の翻訳精度向上に取り組んでいる。カンボジア教育・青少年・スポーツ省による試験的導入と実践研究について働きかけつつ、同国の学習文化や環境について調査を進め、質の高いデジタル教科書の普及拡大を目指す。 | 初等中等教育 | 理数教育・工学教育 |
| 141 | 株式会社タオ | ICT知育教材を用いた日本式幼児教育の海外展開 | オーストラリア | オーストラリアの認可幼稚園と連携し、日本にルーツを持つ子どもたちを対象に、日本語によるICT知育教材を活用した日本式幼児教育を実践する。本取組からのフィードバックを反映し、教材とカリキュラムを改善する。将来的には英語版を開発し、日本にルーツを持たない子どもたちへの展開を目指す。 | 幼児教育 | ICT活用 |
| 142 | Pestalozzi Technology株式会社 | 初等中等教育における体力テストwebアプリの導入及び疾病予防の実現に向けた分析 | フィリピン | フィリピンの学校において、体力テスト集計webアプリ「ALPHA」を活用した日本式体力テスト及び生活習慣アンケートを実施することで、現地の児童生徒や教員が運動・健康について学習する機会を作る。また、児童生徒の体力の現状及び生活習慣に対する意識を調査し、将来の疾病予防に向けた施策の提案を行う。その上で、新たな協力先を探し、フィリピン国内での体力テスト活用の展開拡大を目指す。 | 初等中等教育 | 体育教育 |
| 143 | ヤマハ株式会社 | フィリピン共和国初等教育への日本型音楽教育導入事業 | フィリピン | フィリピンで2024年から段階的に導入されている新国定カリキュラムでは、21世紀型スキルの習得を目指している。他方、科学・社会科・数学分野の学力向上が優先され、音楽教科は小学校第1-3学年で他教科と統合・縮小され、同カリキュラムが目指す21世紀型の総合的な人間力に繋がる学びが不足しかねない。本事業では楽器の活用を含めた日本型音楽教育の導入を通じ、21世紀型スキルの習得に寄与する。 | 初等中等教育 | 音楽教育 |
| 144 | ライフイズテック株式会社 | ガーナにおけるデジタル教材の展開による中高生の創造力と問題解決能力の育成 | ガーナ | 自社開発のデジタル教材は、オンラインで学習が完結し、教師の専門性に依存せず、生徒が自分のペースで取り組める点が特徴である。この教材を、ガーナの教員・生徒に適した形で再構成・調整して展開し、同国の中高生に創造力と課題解決力を育む学びを提供する。 | 初等中等教育 | 理数教育・工学教育 |
| 145 | 一般社団法人namstrops | 正解のない課題に創造的に向き合う『SOUSAKE-DANCE CAMP』を通じた日本型教育「創作ダンス」のローカライズ | 韓国・中国・ルーマニア・リトアニア・エストニア | 対話的・非言語的な身体表現に関心の高い国々と連携し、創造性や共感力など非認知能力を育む日本型教育「創作ダンス（SOUSAKE-DANCE）」のローカライズに取り組む。また、その成果を日本にフィードバックする。芸術・教育機関との国際的ネットワークを通じ、双方向的な実践交流の場を構築しつつ、各国の文化や教育的背景に根ざした創作ダンスの在り方を共に探究・開発する。 | 初等中等教育 | 体育教育 |